

# 市政を問う

## フラワーパーク公園づくり は中止を

市長／赤字でも進めていく



五位塚 剛 議員

**五位塚議員** 市民の大多数がフラワーパーク公園づくりは中止すべきとの声が多い。中止すべきではないか。

**池田市長** 中止すべきとの意見も承知している。事業の推進を望む声も多いので進めていく。

**問** 市民の反対の声を無視し赤字になって借金が増えてくる。赤字の場合市長が自分の財産を担保にして、補償すべきである。

**市長** 多少の赤字は出ると思うが、自分の財産を出して赤字補てん

する考えはない。

### たばこ乾燥場施設の 再利用を

**問** たばこ農家の負担金は精算されているか。

**市長** 負担金は平成21年度ですべて精算が完了している。

**問** 施設の再利用としてカンシヨ・米・キノ



再利用が望まれるたばこ乾燥場

コ類の貯蔵保冷施設として支援できないか。

**市長** 補助金返納とまらないよう有効活用できよう検討していく。

### 四季祭市場に加工施設 と多目的研究施設を

**問** 現在ある加工施設は出荷者の利用はできない。

近くに出荷者の駐車場を含めた加工多目的研修施設の建設はできないか。

**市長** 豆腐などの体験加工施設であるので出荷者は利用できない。加工施設や多目的施

設は用地確保や建設費等が必要となり今のところ考えていない。

### 財部温泉健康センター の指定管理者の変更を

**問** この施設で働く人達も含めて指定管理者の変更を望む声が多い。新年度から見直しすべきではないか。

**市長** 22年度中の総合人材センターによる管理はさまざまな問題があり指定管理の取り消しを行う手続きに入った。

その後、同社からは正報告及び改善策が提案され協議の結果、指定管理の継続を決定した。

### 特別養護老人ホーム の増設を

**問** 曾於市内の老人ホームへの入居希望者の待機者は何人か。

**市長** 市内の特別養護老人ホームは8施設で、定員は381名である。待機者は207名である。

**問** 今後は老人ホームへの入所希望者はさらに増えてくる。施設の増床や市独自の増設はできないか。

**市長** 平成24年度から第5期介護保険事業で審議中である。待機者を考えると90床程度必要と考えており民間事業者をお願いしたい。



新設された特別養護老人ホーム

# TPPの議論と対応は

市長／関係団体と連携を取りながら  
反対していく



迫 杉雄 議員

**迫議員** TPPを議論すると、わが国の地方は農業文化で成り立ってきたことから、社会の形態が崩壊していくことが考えられるが、見解と今後の対応は。

**池田市長** TPPは関税全廃が原則であり、参加は日本の農業、地域経済が崩壊につながる。本市において、農業は重要な基幹産業で地域経済に深刻な打撃を与えることは明白であることから、今後も関係団体と連携を取り

反対していく。

**問** 年々、減少していく本市農畜産物生産実績について、今後どのような対応が考えられるか。

平成19年以降の減少額はどうであるか。

**市長** 耕種部門では干ばつ、低温・多雨等の気象災害による減少と思われる。畜産部門においても平成19年度以降、毎年5億から10億円程度の下落傾向にあり、生産額に換算すると約20億円の減少になる。

**問** 耕作放棄地、遊休農地が増えるが対策はどうであるか。

**市長** 平成21年度から国の耕作放棄地再生利用緊急対策事業

で対応している。田畑の耕作放棄地等の面積は、平成20年度が657・8ha、平成22年度が540・3haとなり、事業の効果で減少している。

## 観光振興について

**問** 全国的に曾於市の知名度が低いと思うが、どのような見解を持っているか、知名度アップにどう対応するか。

**市長** 合併後7年目をへて県内においては「曾於市」の知名度は少しずつ浸透していると思うが、全国的にはかなり低いと思う。しかし、「曾於市」の知名度アップについて色々な機会、マスコミ等を通じて日々努力している。

**問** 本市における観光の素材を今後どのように活かすか、近隣、南



末吉鬼神太鼓



京都で開催された全国鬼サミット

九州として考えはどうであるか。

**市長** 本市は、県下三大祭りの弥五郎どん、鬼追い、流鏝馬、投谷八幡宮、溝ノ口洞穴など県指定の無形民俗文化

化財や天然記念物をはじめ、悠久の森など美しい自然がある。現在、観光に関する6つの協議会等に加盟しており、今後も観光PRに力を入れていく。



改良前



耕作放棄地改良後

# 県警深川駐在所の存続を

市長／再編見直しを要求した



九日 克典 議員

**九日議員** 深川駐在所は半世紀以上にわたって設置されていて地域になじみ、なくてはならない存在だが、地域に於ける駐在所をどうとらえているか。



存続が熱望される深川駐在所

**池田市長** 現在、曾於警察署の機構は、本署と2ヶ所の交番、7ヶ所の駐在所がある。その中で駐在所は、地域住民と密接に接しており、安全安心のまちを構築するためには、必要な機構であると認識している。

**問** 当該地域においては、ここ1年の間、重大な事件、事故が多発している。地域住民からの駐在所

存続の要望が強いが、

**市長** 地域の警察は、市民の日常生活の安全と平穏を確保し提供されるのが任務であるから、曾於市からみると警らに重点を置くことも、地域に滞在して安心感を得ることも大事であると考ええる。

深川駐在所においては、地域の実態実情からして見直して頂くよう所長へ伝えた。

## 介護老人福祉施設の充実を

**問** 高齢者のひとり暮らし世帯と、入所希望者等考慮した施設の増設計画は。

**市長** 住民基本台帳上では10月1日現在ひとり暮らしの高齢者世帯は、3984世帯となっている。入所待機者は300数名である。

現在、平成24年度から平成26年度の介護保険事業計画を策定中であり、施設整備については90床程度の増設が必要と考えている。

**問** 旧末吉駅から財部間の県道500号線沿線に老人福祉施設がない。新設の計画はないか。

**市長** 現在、諏訪地域に福祉施設が集中しているが、社会福祉法人等に対し立地地域等を提案し検討して頂く必要があると考えている。

**問** 看取り介護体制は市内の福祉施設に整備されているか。

**市長** 市内で20施設中15施設が何らかの看取り介護を行っている。

- 看取り加算の指定を受けている施設数
- 特別養護老人ホーム 8施設中4施設
- 老人保健施設 2施設中1施設
- グループホーム 10施設中6施設
- 看取り加算の指定はないが看取り介護を行っている施設は4施設



新設された特別養護老人ホーム

# 中学校統合の準備は万全か

市長／小規模中学校で学べなかった  
学習効果をあげたい



土屋 健一 議員

**土屋議員** 来年度から末吉と財部で中学校が統合されるが教育的効果は。

**植村教育長** 集団やグループで互いに学び合える学習指導上の効果や、スポーツや文化活動において選択肢が広がり人間形成上の効果が並びに教職員の配置が充実でき、より深い教育が可能となる。またPTAや地域の規模が拡大し、活動が活発になる等の効果がある。

**問** 教職員数はどう変わるのか。

**教育長** 財部中が2人増の19人に、末吉中は現状のまま30人になる。全体で25人の教職員の減となる。

**問** 県費を含めて財政的效果は。

**教育長** 県費25人分で1億9000万円減額、市費職員については、7人分で461万円の人件費の減額になる見込みである。

**問** 通学バスの準備は万全か。利用しやすい計画と地元業者育成も考慮すべきである。

**教育長** 統合する中学校ごとに3路線を運行し、登校時に1回、下校時に2回運行することとしている。

**問** 現在の小学校20校の現状と5年後の見込みは。

**教育長** 次の表のとおりである。(表1 小学校の5年後の予測)

## 小規模校の将来は

**問** 小学校区の見直し、統合、再編についての協議は進んでいるか。

**教育長** 曾於市学校規模適正化計画のなかで、第一次計画の中学校の進捗状況により、第二次計画の小学校を平成25年度から決定すると

なっている。

現在、地域の状況や意見等を聞いている状況である。

## 県立高校再編は

**問** 県立高校の現状と再編問題は。

**池田市長** 県教育委員会で「県立高等学校の廃止に関する基準及びその適用等」は廃案となっていて今、「大隅

地域高校振興事業」の大隅地域の公立高校の在り方検討委員会で高校教育の充実・振興の視点に地域振興という新たな視点も加えて協議されていく。

各界の意見を取りまとめていきたい。現状は別表のとおりである。(表2 県立高校の在籍状況)

表1

小学校名	平成23年10月末		平成28年度予測		児童減数
	学級数	児童数	学級数	児童数	
1 末吉	22	576	16	498	△78
2 檉	5	40	3	34	△6
3 高岡	3	14	3	10	△4
4 岩北	3	22	4	19	△3
5 岩南	3	19	3	20	1
6 諏訪	6	90	6	65	△25
7 光神	2	12	3	19	7
8 深川	6	53	4	40	△13
9 柳迫	4	40	4	48	8
10 岩川	12	291	10	261	△30
11 菅牟田	3	9	3	5	△4
12 笠木	4	38	3	22	△16
13 大隅北	5	48	4	38	△10
14 大隅南	3	12	3	11	△1
15 恒吉	3	14	3	23	9
16 月野	6	66	4	42	△24
17 財部	13	326	10	250	△76
18 財部北	3	16	3	22	6
19 財部南	3	27	3	22	△5
20 中谷	2	10	3	7	△3
計	111	1723	95	1456	△267

表2

高校名	科名	平成23年5月1日現在		
		学年	学級数	生徒数
財部	普通	1年	2	53
		2年	2	61
		3年	2	50
	計		6	164
末吉	普通	1年	1	40
		2年	1	37
		3年	1	38
	生物生産	1年	1	37
		2年	1	31
		3年	1	32
	情報処理	1年	1	30
		2年	1	35
		3年	1	40
	計		9	320
岩川	普通	1年	1	39
		2年	1	21
		3年	1	29
	電子機械	1年	1	36
		2年	1	35
		3年	1	38
計		6	198	

# 問題点が多い フラワーパーク

市長／アンケートは実施しない



徳峰 一成 議員

**徳峰議員** アンケートを求める市民の会は、5022人の署名と陳情書を市議会に提出した。市長は多くの市民の願いを尊重して、フラワーパークは建設の賛否を含めアンケートを実施すべきではないか。

**池田市長** アンケートを実施する考えはない。私は、現在では反対より賛成のほうが多いと考える。

**問** フラワーパークに関連して、旧末吉町は類似施設の花房峡憩いの森を10億7000万円かけて建設した。しかし利用者は、現在では最高時の8分の1に激減している。当時建設に議会で賛成した池田市長は、道義的責任は感じていないか。

**市長** 責任を取る考えはない。

**問** フラワーパークの事業費は平成24年、25年度は発表されているが内容があまりで、平成26年度は未発表であり、総事業費は固まっていないではないか。

**市長** そのとおりである。



期間限定のフラワーパーク

**問** 次に維持管理費。パークゴルフ場の年間の歳入を1900万円と発表しているが、机上の計算ではないか。

**市長** 高崎のパークゴルフ場を参考にした試算である。

**問** フラワーパークの年間の花の苗代をわずか750万円と発表している。

花を植える面積を聞きたい。

**市長** 面積はまだ確定していない。

**問** 面積を決めず、花の苗代を750万円と高いかげんな計算ではないか。

**市長** 維持管理費は、大分県天ヶ瀬のフラワーパークを参考にした。

**問** 私が天ヶ瀬のフラワーパークを現地調査したところ、今年からコスモスだけの栽培に切り替えていた。台風や梅雨時期は花を植えなおさなければならず経営上困難との説明であった。曾於市の場合、フラワーパークだけでも8ヘクタールと広大な面積の計画である。

全体事業費が固まっている維持管理費は、非常に不十分な内容である。平成24年度から事業に着手することは絶対にやめるべきだ。

**市長** 3月議会には維持管理費など提案したい。



候補地  
末吉町高之峯地区



候補地  
末吉町胡摩地区

# 財部中学校通学路の安全対策を急げ

市長／整備を進めていく



山田 義盛 議員

歩で通学しており大変危険な状況である。視界確保の為に通学灯が必要ではないか。

【図②参照】

**山田議員** 早馬・湯田線の通学路において、歩道が一部設置されていない所がある。歩道を設置し安全な通学路の確保及び地域住民の安全・安心を確保することが急務ではないか。

【図①参照】

**池田市長** 用地の取得が可能であれば総合振興計画へ計上し、整備を進めたい。

**問** 車の往来が多くせまい道路で、暗く視界不良の道を自転車・徒

**市長** 県道大倉田・財部線から市道湯田・榎木段線、及び市道早馬・湯田線における中学校周辺の照明は、裸電球(旧式)の防犯灯で照度の不足しているので調査し検討する。

**問** 通学路に次の危険箇所がある為、関係機関への働きかけをするべきではないか。

(1) 県道大倉田・財部線から中学校正門への降り口付近の道路改良について

【図③参照】

(2) 危険な五差路交差点の信号機の設置について

(3) 大型車両の対面走行が困難な状況である新地橋の改良工事について

【図④参照】

【図⑤参照】



財部中学校通学路環境整備図(危険箇所)

**市長** 道路改良及び新地橋の改良工事は、県に対して要望していく。また信号機については、公安委員会へ調査を依頼する。

## 情報通信基盤整備の早期の確立を

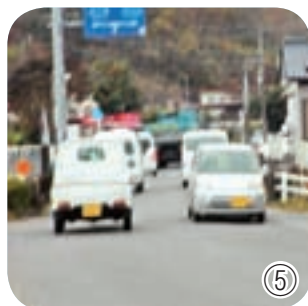
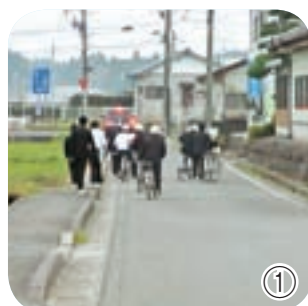
**問** 本年10月から末吉、岩川交換局で光ブロードバンドサービスをNTTで開始している。財部交換局は、市の計画で24年に5億円が計上されているが、その構築方法は。

**市長** 財部は、採算性の問題で通信業者単独での整備は難しいとの回答があり、通信業

者の整備に対しては市から補助金を交付する「民設民営」方式等他方式を含め検討中である。

**問** 内村工業団地等の光ブロードバンドサービス化の検討はなされているのか。

**市長** 立地企業へのフォローとして、また今後の企業誘致推進の立場からも検討していく。



# 霧島市一般廃棄物 最終処理場建設への対応は

市長／再考するよう申し入れたい



坂口 幸夫 議員

**坂口議員** 霧島市福山宝瀬地区に建設予定の一般廃棄物処理場の今日までの経過は。

**池田市長** 平成20年4月11日に霧島市長から曾於市に対し廃棄物処分場建設計画説明が行

われ、同月18日には大隅地区の有志で現地確認調査を行っている。主な経過は次のとおりである。

**平成20年6月2日**

曾於市議会議員への現地説明会

**平成20年9月1～2日**

大隅町関係住民への説明会（大隅北校区公民館及び岩川農業構造改善センターにて）

**平成20年11月10日**

地域住民代表より曾於市長から霧島市長に対して候補地の見直しを申し入れるよう要請書を提出

**平成20年12月5日**

「大隅の水と緑を守る会」が霧島市長、及び市議会に対し候補地の見直しを申し入れる要請書を提出。並びに、曾於市長が霧島市長に対し候補地の再考について申し入れ書を提出

**平成20年12月10日**

曾於市議会による「処分場建設計画の見直しを求める決議」を採択

**平成20年12月16日**

曾於市議会より霧島市に対し決議文を提出

平成23年5月と、9月に曾於市担当職員による現況調査

以上が主な経過である。

**問** 曾於市民（下流域関係者）にこれからのように説明されるのか。

**市長** 宝瀬地区は、大隅町を流れる菱田川水系の源流にあたる為、大変気がかりである。

農作物や畜産への風評、並びに自然環境保全に力を入れた田園地帯であり、これらへの影響や生活不安や農家の経営不安を与えるため、霧島市より十分な説明を

していただくよう強く要望していきたい。

**問** 今後の市長としての考え方と対応は。

**市長** 廃棄物処分場の構造が高い安全性や周辺環境に配慮したものならば、他の地域でも十分受け入れられるものと判断するので、建設場所については再考するよう申し入れたい。

**市長** 観光・農業・教育等において寄与するものと思っている。まちづくりを推進する中で、単独で行うより地域の活性化が図られる。

**問** 曾於市へのメリットは。

**市長** 霧島会議・霧島ジオパーク推進連絡協議会は

**問** 2つの組織のそれぞれの目的、目標は何か。

**市長** まず、環霧島会議の目的は、霧島山を囲む周辺自治体が行政区域を超えて連携し、環境・観光及び防災等に協働し、地域の活性化を図ることである。

次に、霧島ジオパーク推進連絡協議会の目的・目標は、霧島山の地質遺産を地域住民、行政等が連携し、保護・研究を重ね教育的活用やジオツーリズムとして利用できるような環境整備を行い地域社会の活性化に寄与することである。

霧島ジオパーク推進連絡協議会については、世界ジオパークへの登録に向けて取り組む。

**市長** 環霧島会議は、関係市町の圏域に係わる課題等に対し連携・協議し、地域振興につながる方策を展開していくものと考えている。

**問** 2つの組織の今後の展開は。

**市長** 霧島ジオパーク推進連絡協議会については、世界ジオパークへの登録に向けて取り組む。

**市長** 環霧島会議は、関係市町の圏域に係わる課題等に対し連携・協議し、地域振興につながる方策を展開していくものと考えている。

**問** 曾於市へのメリットは。

**市長** 霧島ジオパーク推進連絡協議会については、世界ジオパークへの登録に向けて取り組む。

**市長** 環霧島会議は、関係市町の圏域に係わる課題等に対し連携・協議し、地域振興につながる方策を展開していくものと考えている。